

令和 8 年度第 1 回 J R 小野田線活性化委員会

令和 8 年 7 月 1 0 日（金） 1 5 時～

山陽小野田市役所 第二別館 2 階 会議室 1

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

（1）議案第 1 号

令和 7 年度事業報告について
令和 7 年度収支決算について
令和 7 年度監査報告について

（2）議案第 2 号

令和 8 年度活動方針及び事業計画について
令和 8 年度収支予算について

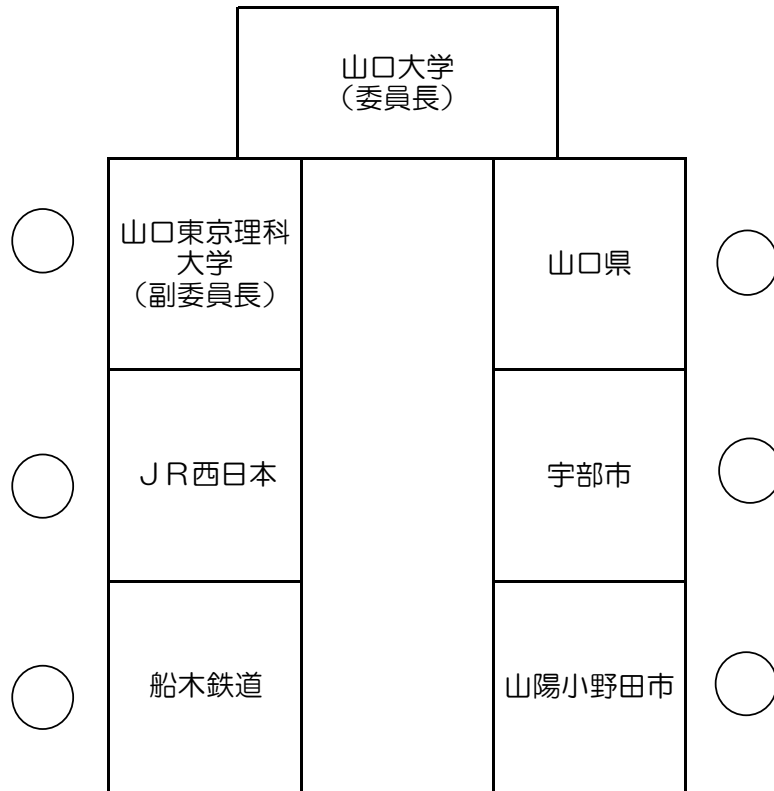
4 そ の 他

5 閉 会

J R 小野田線活性化委員会 出席者名簿

団体名	役職等	名前	備考	出欠
国立大学法人山口大学	大学院創成科学研究科教授	榊原 弘之	委員長	○
公立大学法人山陽小野田 市立山口東京理科大学	工学部電気工学科教授	井上 啓	副委員長	○
西日本旅客鉄道株式会社	中国統括本部広島支社 地域交通（山口）課長	西嶋 俊輔		○
船木鉄道株式会社	代表取締役社長	田中 敬一		○
山口県	観光スポーツ文化部 交通政策課長	吉森 照通	監事	○
宇部市	都市政策部長	渡辺 一正		○
山陽小野田市	経済部部長	高橋 雅彦		○

配席表



事務局 (山陽小野田市職員)
随行職員

令和 7 年度事業報告

令和 6 年度に小野田工業高校を対象に「ＪＲ小野田線の通学定期券で船鉄バスにも乗れるモニター実験」を実施し、オペレーション等を確認した。その結果を踏まえ、令和 7 年度は小野田～雀田～長門本山を含むＪＲ定期券をお持ちの全ての方に「ＪＲ小野田線沿線の公共交通の活性化に向けた実証事業（以下「鉄道とバスの共通乗車制度」）を実施した。

1 委員会の開催

○令和 7 年度第 1 回ＪＲ小野田線活性化委員会

(1) 開催要旨

令和 6 年度の決算報告並びに令和 7 年度の事業計画及び予算等の審議を目的に開催

(2) 開催日時

令和 7 年 7 月 29 日（火） 午前 10 時から

(3) 協議事項

- ・ 令和 6 年度事業報告及び収支決算
- ・ 令和 7 年度事業計画（案）及び令和 7 年度収支予算（案）

○令和 7 年度第 2 回ＪＲ小野田線活性化委員会

(1) 開催要旨

鉄道とバスの共通乗車制度における今後の方向性の共有を図ることを目的に開催

(2) 開催日時

令和 8 年 3 月 2 日（月） 午前 10 時から

(3) 協議事項

- ・ 令和 7 年度の小野田線沿線地域の公共交通活性化に向けた実証事業の実施状況について
- ・ 令和 8 年度事業計画（案）及び令和 8 年度収支予算（案）

2 事業内容の報告

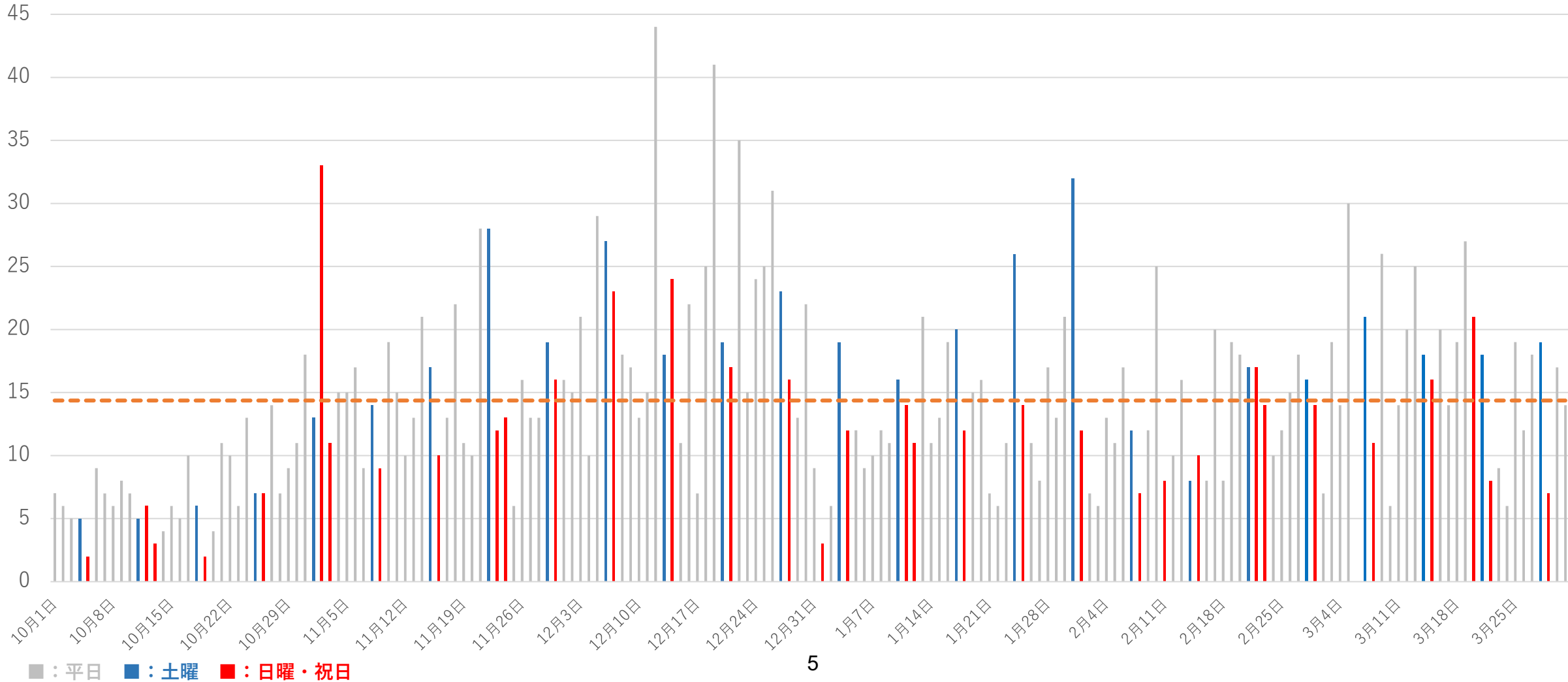
- ・ 鉄道とバスの共通乗車制度等の実績報告（別紙資料参照）

小野田線 夜間増便利用調査【10月1日～3月31日】

8241M最大乗車人数（宇部新川駅21:13発 → 小野田駅21:42着）

50

1日平均：14.4人

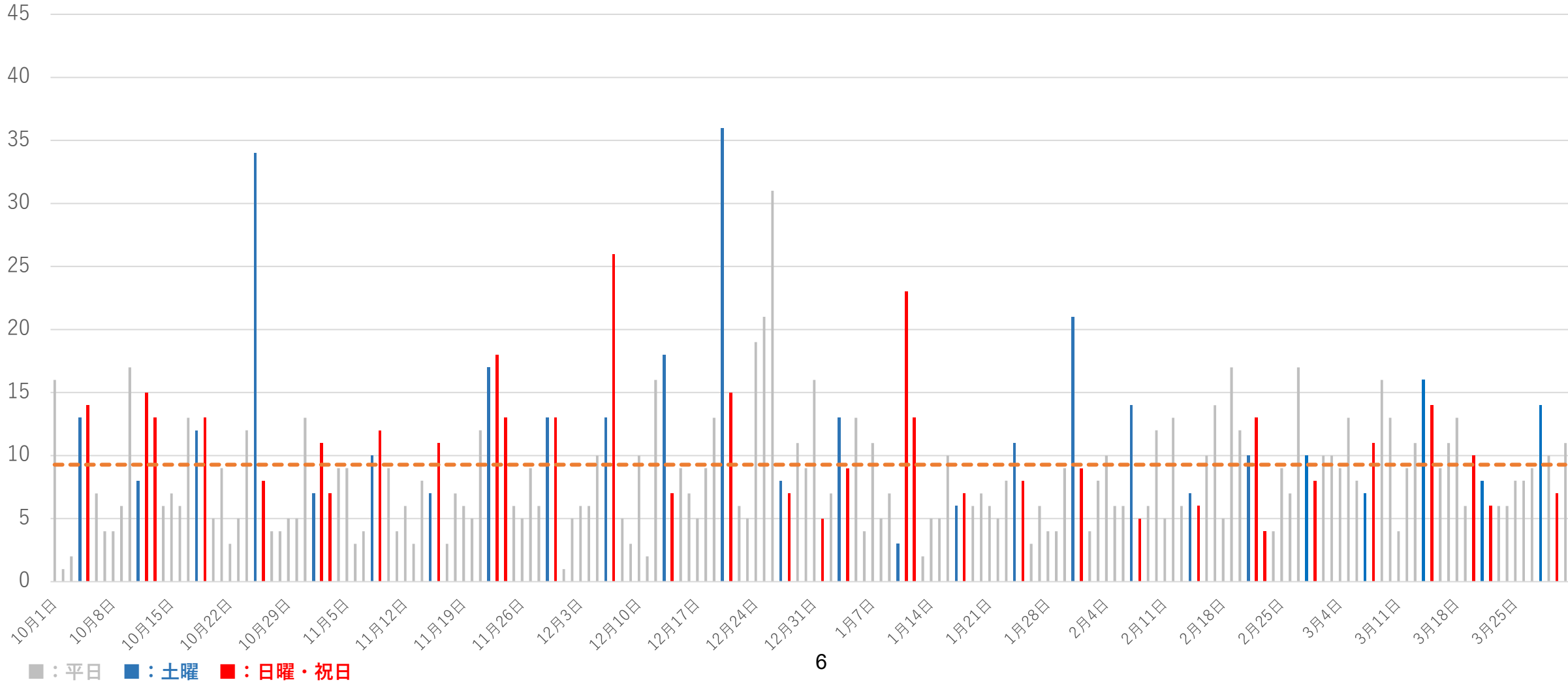


小野田線 夜間増便利用調査【10月1日～3月31日】

8244M最大乗車人数（小野田駅22:19発 → 宇部新川駅22:47着）

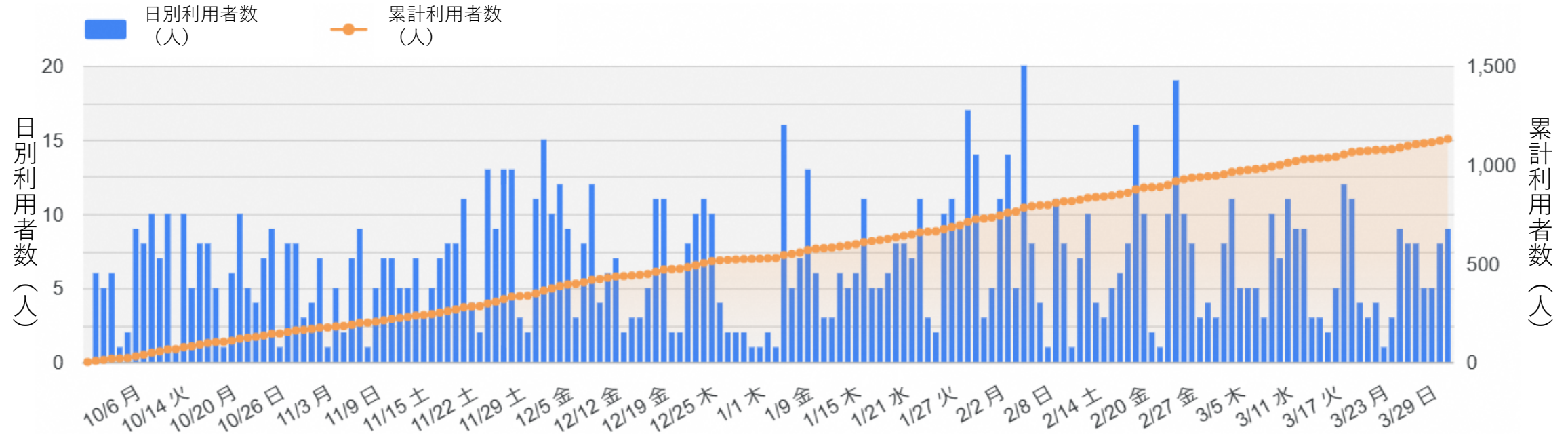
50

1日平均：9.3人



鉄道・バス共通乗車 ご利用実績

対象者（小野田市域でのJR定期利用者）：260人 参加者数：90人



※この他、通信エラー等で正しく乗降データが記録できていない利用が約100件

1日平均利用者数：約7人

ご利用傾向：平日が多く、土休日は僅少

とくに学校の試験期間や始終業式など学校が早く終わる日の利用が多い

令和 7 年度 収支決算

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

【収入】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引	摘 要
負担金	1,410,000	958,039	△ 451,961	山陽小野田市負担金900,000-戻入214,118 685,882 宇部市負担金100,000-戻入23,791 76,209 (J R 西日本)鉄道・バス共通利用実証事業 195,948 負担金410,000-戻入214,052
補助金	750,000	750,000	0	山口県地方ローカル線活性化事業補助金 750,000
諸収入	0	969	969	預金利息
計	2,160,000	1,709,008	△ 450,992	

【支出】

項 目	予算額	決算額	差引	摘 要
会議費	20,000	8,000	-12,000	学識経験者報酬 8,000 (榊原先生2,000円×2) (井上先生2,000円×2)
事務費	10,000	5,060	-4,940	振込手数料 5,060
事業費	2,130,000	1,695,948	-434,052	鉄道・バス共通利用実証事業 195,948 バス利用実績に対する運賃支払い 169,308 アンケート回答者への謝礼(図書カード、切手代) 26,640 JR小野田線増便運行に係る実証事業 1,500,000
予備費	0	0	0	0
計	2,160,000	1,709,008	-450,992	

(収 入 額) (支 出 額) (差 引 額)
1,709,008円 - 1,709,008円 = 0円

監 査 報 告

J R 小野田線活性化委員会の令和 7 年度における収支決算、会計帳簿及び証拠書類について精査した結果、いずれも適正かつ正確であることを認めます。

令和 8 年（2026 年） 6 月 18 日

監 事

吉森 昭通

令和 8 年度活動方針及び事業計画

1 活動方針

J R 小野田線活性化委員会では、J R 小野田線沿線地域において、鉄道とバスが連携した持続可能な地域公共交通の形成に向けて、「鉄道・バス共通乗車制度実証事業」や「小野田線の最終便の増発事業」を令和 7 年 1 0 月から実証的に実施してきたところである。

これらの実証事業の実施状況を踏まえ、令和 8 年度においても実証事業を継続し、J R 小野田線の抜本的な利便性向上を図るためのニーズを把握し、利用者の増加につなげていく。

2 主な事業内容

(1) J R 小野田線「鉄道とバスの共通乗車制度」実証事業

本市の交通政策や公共交通の実態に造詣の深い学識経験者の指導・助言や、交通コンサルの調査・分析を通じて得られた課題や利用者ニーズ、他事例の状況等を踏まえ、J R 小野田線「鉄道とバスの共通乗車制度」実証事業を継続して実施する。あわせて、活性化委員会や勉強会を開催し、実証事業の進捗の確認や制度改善に向けた協議を行う。

《対象者》

高校生（小野田工業高、小野田高、サビエル高校）

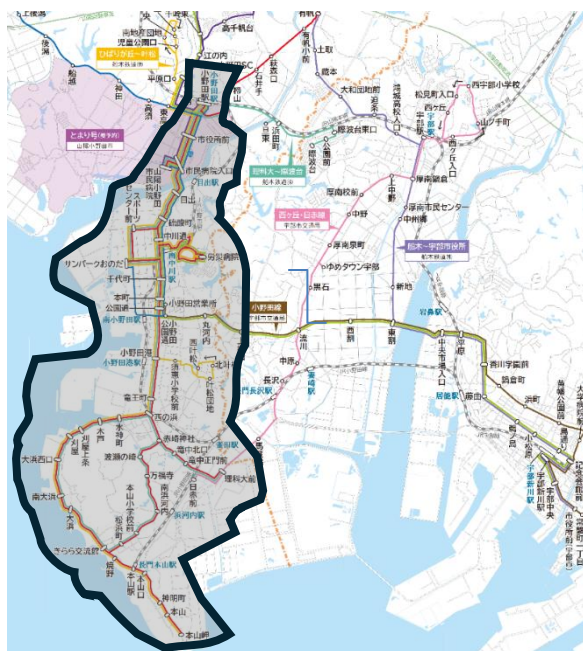
大学生（山口東京理科大学）

通勤者 等

《対象区間》

J R 線 小野田駅～雀田駅～長門本山駅

バ ス 船木鉄道 小野田駅～公園通り～本山岬



《期間》

令和8年4月6日（月）～令和9年3月31日（水）

《実証事業のバスの利用料金》

より多くの利用実績を得るため、無料で実施

■事業費

○バス利用実績に対する運賃支払い（4,470千円）

実証事業における船鉄バスの利用実績に対して運賃の支払いを行う。

＜算出根拠＞

想定参加者数（高校生、大学生、通勤者）：330人

1回あたりバス運賃補填額（バス定期額相当）：113円

1ヵ月あたりバス利用回数：10回/人

1ヵ月あたりバス運賃 $330 \times 113 \times 10 \div 373,000$ 円

実施期間 12ヵ月

$373,000 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} \div 4,470,000$ 円

＜負担額＞

JR西日本 3,130千円

JR小野田線活性化委員会 1,340千円

○アンケート回答者への謝礼（330千円）

アンケートに協力していただいた方への謝礼として図書カード（千円分）を送付する。

（2）JR小野田線最終便の増発の実証事業

令和7年度の実績を踏まえ、令和8年度も継続実施するとともに、小野田線沿線の飲食店等と連携したキャンペーンを実施し、最終便のさらなる利用促進を図る。

＜小野田線最終便の増発＞

- ・宇部新川駅 21時13分発 ⇒ 小野田駅 21時42分着
- ・小野田駅 22時19分発 ⇒ 宇部新川駅 22時47分着

（参考：増発前の小野田線最終便）

- ・宇部新川駅 19時23分発 ⇒ 小野田駅 20時00分着
- ・小野田駅 20時06分発 ⇒ 宇部新川駅 20時34分着

《期間》

令和8年4月1日（水）～令和9年3月31日（水）

■事業費

○ＪＲ小野田線最終便増便に係る負担金（３，３００千円）

○利用促進キャンペーン（８００千円）

増発した最終便の利用促進を図るため、小野田線沿線駅周辺の飲食店と連携したキャンペーンを実施する。

キャンペーンの内容については、山陽小野田料飲組合と協議中。

・キャンペーンの例（７５０千円）

小野田線を利用して飲食店を利用した方にドリンク一杯無料券を配布

ドリンク１杯無料券 ５００円

実施期間 １ヶ月（３０日）想定利用者数 ５０人／日

$500 \text{ 円} \times 30 \text{ 日} \times 50 \text{ 人} = 750,000 \text{ 円}$

・チラシ印刷、郵送料（５０千円）

令和 8 年度 収支予算

【収入】

(単位：千円)

項 目	本年度	前年度	増 減	摘 要
負担金	6,890	1,410	5,480	沿線各市負担金 (山陽小野田市3,330千円、宇部市370千円) 鉄道・バス共通パス実証事業負担金 (J R 西日本3,190千円)
補助金	2,050	750	1,300	山口県地方ローカル線活性化事業補助金 (地方ローカル線利用促進取組強化事業 (1/2))
諸収入	0	0	0	
計	8,940	2,160	6,780	

【支出】

項 目	本年度	前年度	増 減	摘 要
会議費	20	20	0	学識経験者報酬 (委員会・勉強会) (2,000円×2名×5回) 20
事務費	20	10	10	事務局消耗品、手数料等 20
事業費	8,900	2,130	6,770	鉄道・バス共通乗車制度実証事業 4,800 バス利用実績に対する運賃支払い 4,470 アンケート回答者への謝礼 (図書カード) 330 J R 小野田線最終便増発実証事業 4,100 負担金支払い 3,300 利用促進キャンペーン 800
予備費	0	0	0	0
計	8,940	2,160	6,780	

JR小野田線 最終便増発 のお知らせ

実施期間

令和8年

4月1日(水)より

令和9年

3月31日(水)まで

改正内容

最終便の増発

宇部新川駅
21時13分発



雀田駅 21時26分発



小野田港駅 21時30分発



南小野田駅 21時32分発



南中川駅 21時35分発



目出駅 21時38分発



小野田駅 21時42分着

小野田駅
22時19分発



目出駅 22時23分発



南中川駅 22時26分発



南小野田駅 22時29分発



小野田港駅 22時31分発



雀田駅 22時35分発



宇部新川駅 22時47分着

※時刻は令和7年10月1日現在のものです。今後のダイヤ改正により変更となる場合もあります。



山陽本線の
接続はこちらから
ご確認ください

問合せ先

〈運行に関すること〉

JR西日本お客様センター 0570-00-2486

〈実証事業に関すること〉

JR小野田線活性化委員会 0836-82-1150

いつもの道も、もっと自由に。
鉄道もバスも、好きなほうで。
動き出す、新しいJR小野田線。



こんな時は？Q&A

Q.バス乗車中にスマホの電源が切れた。環境が悪く、アプリ画面が表示できない。

A. JR定期券とスマホを表示して、アプリ画面が表示できない旨を申し出てください。

Q.乗車時にプレートにタッチしてもスタンプがつかない。

A. 運転士にその旨を申し出てください。(スタンプがつかなくても乗降可能です。)

Q.小野田駅より北、公園通より東に行く場合、運賃はどうなるか。

A. 指定の範囲をこえて乗降する場合は、乗車した停留所からの運賃をいただきます。
もしくは、いったん小野田駅、公園通で下車(無料)、再度乗車して目的地へ向かってください。

Q.小野田駅より北、公園通より東から乗車した場合、運賃はどうなるか。

A. 指定の範囲外から乗車し範囲内で下車する場合は、本制度の対象外となりますので、乗車した停留所から運賃をいただきます。
もしくは、いったん小野田駅、公園通で運賃を支払い下車し、再度乗車して目的地へ向かってください。

Q. JRの普通きっぷではバスに乗りできないのか？

A. 定期券のお客様を対象とした実証実験ですので、定期券以外のお客様は通常のバス運賃をお支払いください。

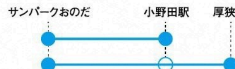
Q. JR定期券の区間が、小野田⇄南中川であるが、バスで長門本山まで行けるのか？

A. 対象区間のJR定期券をお持ちであれば、図中の範囲のバス全線に乗りできます。
(※各駅に対応するバス停を設定するとルールが複雑化することや、車内積置が多発しバスの遅延が生じかねないためそうしています)

Q. 船鉄バスの定期を持っているがJRの電車に乗れるのか？

A. JRの定期券をお持ちのお客様が対象ですので、船鉄バスの定期でJRの電車にはご乗車いただけません。

無料乗車できる例



こんな場合も無料乗車できません
○定期券やアプリ画面の提示がない場合
○定期券の期限が切れている場合
○船鉄バス以外のバスに乗る場合

サンパークおののどー線鉄駅の
通常運賃が必要となります



参加
特典

今回モニター実験に参加いただき、乗降スタンプが10個貯まった後に表示される
アンケートに答えていただいた方全員に、図書カード1,000円分をプレゼント！

注意事項

※運賃費は各自負担となります。※必ず本人名義の定期券でご参加ください。不正利用が発覚した場合は、利用を停止することがあります。
※法令等の定めにより、参加特典もありえない場合があります。

お問い合わせ先

事業主体:JR小野田線活性化委員会(事務局:山陽小野田市商工労働課)

モニター実験全般に関すること.....山陽小野田市 商工労働課 0836-82-1150 shoukou@city.sanyo-onoda.lg.jp

アプリの運用に関すること.....メールによる問い合わせに限り、(wester-stamp-office@westjr.co.jp)

※メールの件名は「小野田線実証事業について」とお申し込みください。※実証期間のみ開設。返信に時間を要する場合があります。

船鉄バスの運行に関すること.....船木鉄道株式会社 0836-67-0074 watabe@sentetsu.jp

※本誌に掲載の画像・イラストについては全てイメージです。※本誌に掲載の情報は2026年3月現在のものです。



JR 船鉄バス

「乗る」たび、毎日新しくなる。
JR小野田線沿線の
公共交通の活性化に向けた
実証事業の取り組み

2026年
4月6日(月)

2027年
3月31日(水)



JRの定期券で
JR小野田線の列車と、
並行する船鉄バス
どちらも
乗車可能に！



JR小野田線活性化委員会

